

# 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン准看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標(看護師との比較表)

別表13 (改正後)

※実践については、看護職員や教員の指導の下で行う

別表14 (新規)

※法令に基づき、医師、歯科医師又は看護師の指示を受けて療養上の世話及び診療の補助を行う  
 ※実践については、看護職員や教員の指導の下で行う

看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
I 群 ヒューマンケアの基本的な能力	A. 対象の理解	1	対象者の状態を理解するのに必要な人体の構造と機能について理解する
		2	胎生期から死までの生涯各期の成長・発達・加齢の特徴に関する知識をもとに対象者を理解する
		3	対象者を身体的・心理的・社会的・文化的側面から総合的に理解する
	B. 実施する看護についての説明責任	4	実施する看護の根拠・目的・方法について対象者の理解度を確認しながら説明する
		(削除)	(削除)
		(削除)	(削除)
	C. 倫理的な看護実践	5	看護職としての倫理観を持ち、法令を遵守して行動する
		6	対象者の尊厳を守る意義を理解し、価値観、生活習慣、慣習、信条等を尊重した行動をとる
		7	対象者の情報の取扱い及び共有の方法を理解し、適切な行動をとる
		8	対象者の選択権及び自己決定を尊重し、対象者及び家族の意思決定を支援する
		(削除)	(削除)
D. 援助的関係の形成	9	対象者と自分の境界を尊重しながら関係を構築する	
	10	対人技法を用いて、信頼関係の形成に必要なコミュニケーションをとる	
	11	必要な情報を対象者の状況に合わせた方法で提供する	
	(削除)	(削除)	

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
I 群 ヒューマンケアの基本的な能力	A. 対象者の理解	1	対象者の状態を理解するのに必要な <b>基礎的な</b> 人体の構造と機能について理解する
		2	胎生期から死までの生涯各期の成長・発達・加齢の特徴に関する <b>基礎的な</b> 知識をもとに対象者を理解する
		3	対象者を身体的・心理的・社会的・文化的側面から理解する
	B. 実施する看護についての説明責任	4	実施する看護の目的・方法について対象者の理解度を確認しながら説明する
	C. 倫理的な看護実践	5	看護職としての倫理観を持ち、法令を遵守して行動する
		6	対象者の尊厳を守る意義を理解し、価値観、生活習慣、慣習、信条等を尊重した行動をとる
		7	対象者の情報の取扱いの方法を理解し、適切な行動をとる
		8	対象者の選択権及び自己決定を尊重し、対象者及び家族の意思決定を支援する
	D. 援助的関係の形成		
		9	対人技法を用いて、信頼関係の形成に必要なコミュニケーションをとる

看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
Ⅱ群 根拠に基づき、看護を計画的に実践する能力	E.アセスメント	12	健康状態のアセスメントに必要な客観的・主観的情報を系統的に収集する
		13	情報を整理し、分析・解釈・統合し、看護課題の優先順位を判断する
	F.計画	14	根拠に基づき対象者の状況に応じた看護を計画する
		15	看護計画の立案にあたって、対象者を含むチームメンバーと連携・協働する必要性を理解する
	G.実施	16	計画に基づき看護を実施する
		17	対象者の状態に合わせて、安全・安楽・自立／自律に留意しながら看護を実施する
		(削除)	(削除)
		(削除)	(削除)
	H.評価	(削除)	(削除)
		18	実施した看護の結果を評価し、必要な報告を行い記録に残す
		19	評価に基づいて計画の修正をする

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
Ⅱ群 看護師の立案した看護計画を基に看護を実践する能力	E.情報収集	10	<u>対象者を理解するために必要な</u> 情報を収集する
	F.計画	11	<u>立案された看護計画について理解する</u>
	G.実施	12	計画された看護を <u>対象者の反応を捉えながら</u> 実施する
		13	<u>対象者の安全・安楽・自立／自律に留意しながら、</u> 計画された看護を実施する
		14	<u>看護援助技術を</u> 対象者の状態に合わせて実施する
		15	<u>対象者の状態が変化し、指示の範囲外である場合には、医師、歯科医師又は看護師に指示を求める</u>
		16	<u>実施した看護と対象者の反応を報告し、記録する</u>
H.評価		17	実施した看護の結果について、 <u>評価された内容や修正された計画を理解する</u>

看護師の実践能力		卒業時の到達目標		
	構成要素			
Ⅲ群 健康の保持増進、 疾病の予防、健康 の回復にかかわる 実践能力	I.健康の保持・増 進、疾病の予防	20	生涯各期における健康の保持増進や疾病予防における看護の役割を説明する	
		21	環境が健康に及ぼす影響と予防策について理解する	
		22	対象者及び家族に必要な資源を理解し、健康の保持・増進に向けた生活に関する支援を行う	
		(削除)	(削除)	
		(削除)	(削除)	
	J. 急速に健康状態 が変化する対象へ の看護		23	急速に健康状態が変化する(周術期や急激な病状の変化、救命救急処置を必要としている等)対象の病態や、治療とその影響について理解する
			(削除)	(削除)
			(削除)	(削除)
			24	基本的な救命救急処置の方法を理解し、模擬的に実践する
			25	健康状態の急速な変化に気付き、迅速に報告する
			26	合併症予防のために必要な看護を理解し、回復過程を支援する
			27	日常生活の自立/自律に向けた回復過程を支援する
	(削除)	(削除)		
	K.慢性的な変化に ある対象への看護		28	慢性的経過をたどる人の病態や、治療とその影響について説明する
			(削除)	(削除)
			29	対象者及び家族が健康課題に向き合う過程を支援する
			(削除)	(削除)
			30	健康課題を持ちながらもその人らしく過ごせるよう、生活の質(QOL)の維持・向上に向けて支援する
	L.終末期にある対 象への看護		31	急性増悪の予防・早期発見・早期対応に向けて継続的に観察する
			(削除)	(削除)
			32	終末期にある対象者の治療と苦痛を理解し、緩和に向けて支援する
			33	終末期にある対象者の意思を尊重し、その人らしく過ごせるよう支援する
			34	終末期にある対象者及び家族を多様な場においてチームで支援することの重要性を理解する

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標		
	構成要素			
Ⅲ群 健康の保 持・増 進、疾病 の予防、 健康の回 復、 <b>苦痛 の緩和</b> に かかわる 実践能力	I.健康の保持・増 進、疾病の予防	18	生涯各期における健康の保持増進や疾病予防における看護の <b>基本的な役割を理解する</b>	
		19	環境が健康に及ぼす影響と予防策について理解する	
		(削除)	(削除)	
	J. <b>健康の回復、苦 痛の緩和</b>		20	対象者の <b>健康状態や、実施される治療</b> とその影響について理解する
			(削除)	(削除)
			21	<b>対象者の状態の変化について</b> 迅速に報告する
			22	合併症予防のために必要な看護を <b>理解する</b>
			23	<b>立案された看護計画に基づき、心身の苦痛の緩和</b> 及び日常生活の自立/自律に向けた <b>療養生活</b> を支援する
			(削除)	(削除)
			(削除)	(削除)
	K.終末期にある対 象への看護		24	終末期にある対象者の治療と苦痛、 <b>その人らしく過ごせる支援方法を理解する</b>
25			終末期にある対象者及び家族を多様な場においてチームで支援することの重要性を理解する	
26			基本的な救命救急処置の方法を理解し、模擬的に実践する	



看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
IV群 ケア環境 とチーム 体制を理 解し活用 する能力	M.看護専門職の役 割と責務	35	看護職の業務を法令に基づいて理解するとともに、その役割と機能を説明する
		(削除)	(削除)
		36	看護チーム内における看護師の役割と責任を理解する
		(削除)	(削除)
	N.安全なケア環境の 確保	(削除)	(削除)
		37	リスク・マネジメントを含む医療安全の基本的な考え方と看護師の役割について説明する
		(削除)	(削除)
		38	感染防止策の目的と根拠を理解し、適切な方法で実施する
		39	関係法規及び各種ガイドラインに従って行動する
	O.保健・医療・福祉 チームにおける多職 種との協働	40	保健・医療・福祉チームにおける看護師及び他職種の機能・役割を理解する
		41	対象者をとりまく保健・医療・福祉関係者間の協働の必要性について理解する
		42	対象者を含むチームメンバーと連携・共有・再検討しながら看護を実践する
		(削除)	(削除)
		(削除)	(削除)
	P.地域包括ケアシス テムにおける看護の 役割	43	地域包括ケアシステムの観点から多様な場における看護の機能と役割について理解する
		(削除)	(削除)
		(削除)	(削除)
		44	日本における保健・医療・福祉の動向と課題を理解する
		45	諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題を理解する
V群	Q.継続的な学習	46	看護実践における自らの課題に取り組み、継続的に専門職としての能力の維持・向上に努める必要性と方法を理解する
		(削除)	(削除)
専門職者 として研 鑽し続け る基本能 力	R. 看護の質の改善 に向けた活動	47	看護の質の向上に努める必要性を理解する
		48	看護実践に新たな技術やエビデンスに基づいた知見を活用し、批判的吟味をすることの重要性を理解する

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標	
	構成要素		
IV群 ケア環境 とチーム 体制を理 解し活用 する能力	L.看護専門 職の役 割	27	准看護師の業務を法令に基づいて理解するとともに、その役割と機能を説明する
		(削除)	(削除)
	M.安全なケア環境の 確保	28	リスク・マネジメントを含む医療安全の基本的な考え方を理解する
		29	治療薬の安全な管理について理解する
		30	感染防止の手順を遵守する
		(削除)	(削除)
	N.保健・医療・福祉 チームにおける多職 種の協働	31	保健・医療・福祉チームにおける看護師・准看護師及び他職種の機能・役割を理解する
		32	対象者をとりまく保健・医療・福祉関係者間の協働の必要性について理解する
		33	対象者をとりまくチームメンバー間で報告・連絡・相談等を行う
	O.地域包括ケアシス テムにおける看護の 役割	34	地域包括ケアシステムの観点から、多様な場における看護の基本的な機能と役割について理解する
(削除)		(削除)	
V群	P.継続的な学習	35	看護実践における自らの課題に取り組み、継続的に自らの能力の維持・向上に努める
		(削除)	(削除)
専門職者 として研 鑽し続け る基本能 力	(削除)	(削除)	(削除)
		(削除)	(削除)